

Into my Packet



後藤滋樹の

新・社会楽

後藤滋樹
(goto@info.waseda.ac.jp)
早稲田大学 理工学部 情報学科

第17回「海外旅行必携」

今回は、旅行に持っていくと便利な小物(gadget)を紹介し
ます。いずれも使用実績のあるものを選びました。

【小型懐中電灯】

助かった例・その1：北京の清華大学の真っ暗な講堂でビデオ
テープを上映したところ、音が出ない。これは出力のコードを
挿入した場所が違っていたためだ。懐中電灯を頼りに、テープを
回したままコードを挿し換えて無事講演を終了した。

助かった例・その2：タイの古都アユタヤをバスで旅行した。立
派な観光バスで後部にトイレがある。しかし、トイレの内部の電
灯がつかなかった。夜になって、私の懐中電灯のおかげで4か国
の人たちが用を足すことができた。その時、おおいに感謝された。

【単眼鏡】

米国の観光地では、カメラを持っている人もそれなりに多いが、
双眼鏡を持っている人が目につく。それにヒントを得て、私は単
眼鏡を購入した。これは意外に便利である。たとえば、国際会議
の会場の後方からスクリーンの文字が読める。空港では各種の案
内掲示板を遠方から確認できる。街を散歩中に得体の知れない店
の中をのぞく、など。

【摂氏(C)温度計】

ホテルの空調の調整ダイヤルは、高・中・低の目盛りだけの場
合がある。温度が表示されていても、国によっては華氏(F)の
数字である。旅行中は風邪をひかないように室温に注意すべきだ。
私は摂氏温度計を持ち歩いている。

米国では一般に華氏が使われている。メキシコ国境に近い南カ
ルフォルニアの町でAAA(日本のJAFに相当)の地図をもらっ
たら、欄外に摂氏と華氏の換算表が印刷されていた。メキシコは摂
氏なのだ。換算表だけでも役に立つ場合がある。私は天気予報で
温度の情報を聞いても、華氏ではピンとこないなので摂氏に換算す
るようにしている。

【磁石(コンパス)】

シカゴの空港でタクシーに乗った。行先はシカゴ市街でなく、
郊外の国立研究所だ。これは迷いやすい。それにしても、運悪く
走り出した方向が逆のようだ。結局、私は地図と磁石で運転手
に道を説明をする羽目になった。やれやれ。磁石の針は車の中で
正確とは限らない。飛行機の中では良好なので、時々機内で磁石
をながめていると、大圏コースに沿って航空路が曲がっているの
が実感できる(本当は航空路が直線に相当するのだが)。

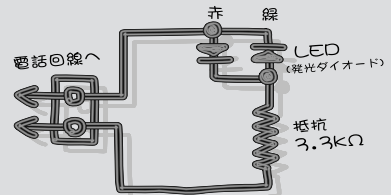
【サンダル】

ホテルの室内では靴を脱ぎたい。私のような日本人はスリッパ
を必要とする。飛行機の中で簡易スリッパが配られる場合もある
が、航空会社によっては厚手のソックスというときもある。旅行
かばんに余裕があれば、思い切って日本からサンダルを持参する
と快適である。最近はいわゆるスポーツサンダルをどこでも売っ
ている。しかし、値段は一人前の靴と同じくらいする。日本式の
安くて丈夫なサンダルは貴重な存在である。

【電話回線極性判定器】

旅行中もインターネットへのアクセスを確保したいという場合
には、モデムが必要になる。最近、ホテルの部屋の中に電話の
モジュラージャックが2つ用意されている場合がある。私が宿泊し
た米国の某ホテルでは、2番目のジャックに「データ」とラベルが
貼ってあった。当然そこにモデムを接続してみたが、どうしても
ダイヤルできない。

いろいろと試してもダメ。そこで、ドライバーでカバーを外して
配線を確認してみると、何のことはない、配線していないのであ
る。それ以後は、パソコンと一緒に図のような電話回線極性判定
器を持ち歩いている。この判定器は某ホテルの近所のパソコンシ
ョップで購入した市販品である。内部はごく簡単なので、そのあ
とに秋葉原で部品を買って自作を試みた。LED(発光ダイオード)
は1本10円の安価なものを2本(赤と緑)抵抗は1本10円、
一番高かったのは電話用
のモジュラージャックで、
私は1個100円のジャン
ク(中古部品)から取り
外したものを使った。



【OHPのマーカーパーン】

これは国際会議に参加する人にお勧めする。仮に自分で使う予
定がなくても、OHP用のマーカーパーンを持参するとよい。パソ
コンの画面をプロジェクターで投影するのが時流であるが、OHPは
世界各地で今なお健在である。OHPがあるところ、必ずマーカ
ーパーンが必要になる。しかし、マーカーパーンを持っていても他人に貸す
余裕のある人は少ない。余分に携帯するのは黒のマーカーパーン
だけでよい。私はマーカーパーンを貸して感謝されたことが何度もあ
るが、大抵は黒1色だけで済んでいる。



4月に筆者の所属が変わりました。この場を借りてご挨拶申し
上げます。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp